

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学各論		講義	小堀 博史・福林 加奈子・山本 克己 藤田 愛・大西 美緒・村上 隆太郎・福林 秀幸	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
我が国が直面している最大の課題は少子高齢化である。社会の変化に伴い理学療法においても地域リハビリテーションに基づく地域理学療法のあり方が問われている。本講義では、実際の地域リハビリテーション分野の臨床の講師による講義を行い、2年次に学習した地域理学療法学総論を基に、より深い知識の修得と、地域リハビリテーションの担い手としての理学療法士の役割をより理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 地域理学療法の各分野の特徴と理学療法士の役割を理解できる。 2. 高齢者や障害者の生活を深く知り、地域リハビリテーションチームの中の理学療法士の役割を理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域ケアセミナー			
2	地域ケアセミナー			
3	地域ケアセミナー			
4	行政における理学療法士の役割・意義について			
5	介護予防、地域包括ケアシステムについて			
6	介護老人福祉施設における理学療法(1)			
7	介護老人福祉施設における理学療法(2)			
8	地域リハビリテーションと起業、デイサービスについて(1)			
9	地域リハビリテーションと起業、デイサービスについて(2)			
10	訪問リハビリテーションについて(1)			
11	訪問リハビリテーションについて(2)			
12	在宅での高齢者の看護とリハビリテーション(1)			
13	在宅での高齢者の看護とリハビリテーション(2)			
14	障害者施策の中での理学療法士の役割(1)			
15	障害者施策の中での理学療法士の役割(2)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	80%	感想文・課題		
小テスト				
平常点	20%	受講態度（居眠り、忘れ物等の態度・取り組む姿勢 等）		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載	随時資料を配布する			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
状況や日程調整などにより内容が前後することがあります。				